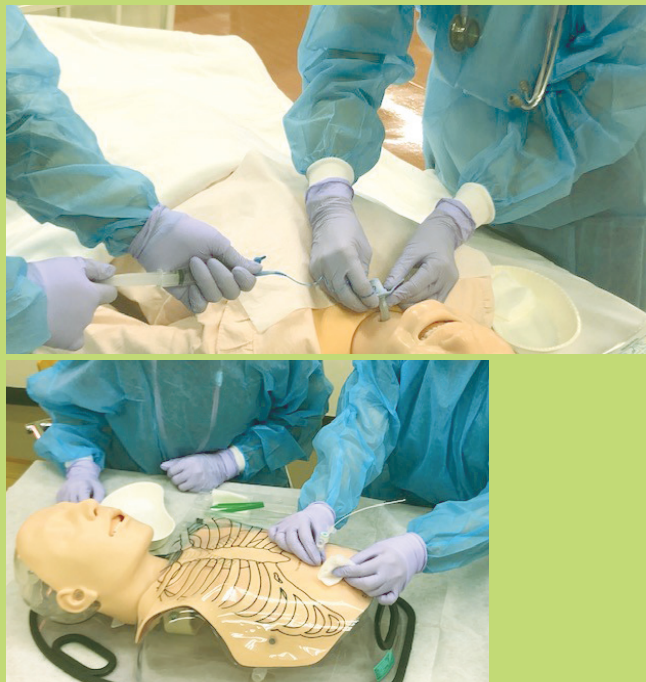




対 象

在宅領域の看護師

在宅領域で活躍する看護師は、
病態判断力と臨床推論力を強化しましょう。



領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」

- 取得できる特定行為
 - ・気管カニューレ交換
 - ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
 - ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
 - ・脱水症状に対する輸液による補正
 - ・**選択可** 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

募集人数

15名

応募期間

2022年
1月4日[火]～1月18日[火]

詳細は、裏面をご覧ください▼

ご案内

特定行為研修

〈2022年度〉在宅領域の看護師を対象とした 特定行為研修のご案内

日本看護協会は、2025年へ向けて疾病構造や医療提供体制の変化を踏まえ、在宅等、地域で活躍する看護師の育成のため特定行為研修を行います。

領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」について

特定行為研修制度開始後、研修内容の精錬化による研修時間の短縮、および実施頻度の高い特定行為をまとめた領域別パッケージ研修が作られました。本校では、「在宅・慢性期領域」のパッケージ研修を実施しています。

本校のカリキュラムの特徴は、集合研修でも職場を長期間不在にせず学習できるよう配慮した時間割としています。

ねらい

研修の受講により、臨床推論力や病態判断力を強化しより質の高いケアと特定行為が実施できるようになることを目指します。療養が長期にわたる、もしくは最後まで自宅または施設等で療養する患者に対して、柔軟な対応が可能となるよう在宅領域の看護師の活躍が期待されています。

研修期間・研修方法

開講期間 | 7月に開講、翌年の6月に修了(1年間)

研修内容 | 共通科目と特定行為区分別科目または領域別パッケージ研修

研修時間 | 321時間(共通科目259時間+在宅・慢性期パッケージ)

※上記時間に加えて臨地実習時間が必要です。また高カロリー輸液を選択した場合には5時間追加になります。

研修方法 | eラーニングと集合研修、臨地実習

※共通科目は eラーニングと5日間の集合研修
(eラーニング期間中に登校日が3回程度あり)

※特定行為区分別科目は集合研修と臨地実習1行為につき5症例を経験する
※実習施設は基本的に自施設実習とする

2022	
7月中旬	開講式
開講式後～	eラーニング学習 eラーニング学習期間中に、筆記試験のために登校日を3回(各1日)程度予定
2023	
1月～3月	集合研修 ●共通科目5日 ●在宅・慢性期領域パッケージ約9日 (計約14日間登校する)
3月～5月	臨地実習 実習期間内に特定行為ごと5症例以上を実践する。
6月末	修了式

受講申し込み方法 応募期間/2022年1月4日(火)～1月18日(火)

【応募資格】

- ①概ね臨床経験5年目以上の看護師。
- ②在宅や介護施設等の領域における活動実績がある看護師。または、今後、在宅や介護施設等の領域において活動を予定する看護師。

【応募方法】

郵送による申請書類提出

【受講者決定の方法】

書類選考

詳細は、日本看護協会公式ホームページをご参照ください。

次の資料を確認、ダウンロードできます。▶▶▶ [募集要項/受講申請書類一式]

本会HP ▶ 生涯学習支援 ▶ 特定行為研修 ▶ 本会の特定行為研修について
<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/tokuteikenshu/index.html>



〈看護研修学校(清瀬)の特定行為研修は特定一般教育訓練給付の対象です。〉

※一部例外があります。

問い合わせ先

公益社団法人 日本看護協会
看護研修学校 〈総務管理部 教務課〉
〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

[TEL] 042-492-7464